

認知症高齢者声掛けミニ模擬訓練

この訓練は、「認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくために」を目的に、小和田地区社協と小和田地区まちぢから協議会が中心になって企画されました。

認知症等高齢者SOSネットワークにより防災行政用無線で捜索の放送があったと想定し、参加者全員が行方不明者への声掛けと認知症の役を体験する訓練です。

- 1、日 時： 令和3年3月20日(土) 9:30~12:00
- 2、訓練場所： 小和田小学校を起点とした2ルートにて(菱沼小和田コース、本宿コース)
- 3、訓練参加者： 小和田地区社協：12人、ボランティアセンター：3人、民生委員：4人、まちぢから協議会：3人、小和田小こわだ会：3人+その学童2人
市 高齢福祉介護課：1人、市 福祉政策課：1人、市社協：2人
市 市民自治推進課：1人、包括・相談室青空：2人、茅ヶ崎警察署：1人

◆まずは参加者へミニ講座◆



【市の高齢福祉介護課より】



認知症の方に接する際のポイントとして驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない、具体的には①まずは見守る、②余裕をもって対応する、③声を掛ける時は一人で、④後ろから声を掛けない、⑤相手に視線を合わせて優しい口調で⑥穏やかにはっきりした話し方で、接すると良いとの話があった。

【茅ヶ崎警察署より】



認知症の方の捜索状況の説明や声掛けが難しい場合は戸惑わないで、警察に連絡してほしいと話があった。早ければ早いほど行方不明者の発見率が上がるとの理由であった。

◆そして模擬訓練の実施◆

- 本宿コース、菱沼小和田コースそれぞれ 3人1組に分かれて合計9組のグループに分け、参加者全員が認知症役と声掛け役を体験した。
- 声掛け役の人は、ポイントにいる認知症役の人に声掛けをして名前を聞き出したところで、本部に電話して終了となる。今回は、声掛け役の人はその場所にとどまって認知症役となる。



「どうされましたか？」
「バスが来ないか待ってるんだよ」
「もう少し待てば来ます。ところでどこに行かれるんですか？」
「う～ん！忘れちゃった」
「それならお名前、教えてくださいませんか？」



「何かお捜しですか？」
「家が判らなくて・・・？」
「お名前を教えてください？」
「よしおですが・・・」
「それではちょっと警察に聞いてみます」

◆参加者の声◆

- ・声掛けはなかなか出来なかったが、今回の訓練で少しは声かけしやすくなったと思います。
- ・実際にシュミレーションをすることで少しだが自信につながる。
- ・認知症になった時にやさしい声掛けをしてもらえたら安心できると感じました。
- ・身近で見かけたら声を掛ける意欲が出る訓練でした。
- ・警察、市役所の方などのお話もとても参考になりました。
- ・小学生など、地域によく出る立場の子どもたちにも関心を持って、何かの時に役に立てるような訓練やワークショップがあったら良いと思う。

参加くださった方のご協力ありがとうございました